

高速道路建設促進に関する要望書

全国高速自動車道市議会協議会は、平成21年度
高速道路建設促進に関する要望書を議決いたしま
したので、政府並びに国会におかれましては、特段
のご配慮を賜りますよう強く要望いたします。

平成20年7月

全国高速自動車道市議会協議会

会長

三浦由



(大分市議会議長)

要 望

高速自動車国道を核とする高規格幹線道路網 14,000km は、地域の経済活動をはじめ、地域活性化や地域間の格差是正、さらには災害時の緊急輸送、救急医療の充実などに資するものであり、最優先に取り組むべき重要な社会基盤である。

現在、高速自動車国道の整備は、有料道路方式と新直轄方式により進められているが、その供用率は依然 6 割に過ぎず、足踏み状態が続いている。

高速道路はネットワーク化が図られてこそ、その効果を最大限に発揮するものであり、既存の高速道路の有効的な活用を促すためにも、高速道路ネットワークの早期整備を図るとともに、高速道路へのアクセス性を高める地域の幹線道路の整備を急ぐことが極めて重要である。

また、これらの道路整備が着実に推進されるよう、必要な道路整備財源を確保する必要がある。

よって、高速道路ネットワークの早期完成及び有効活用が図られるよう、次の事項の実現を強く要望する。

1. 高速道路の建設促進について

- (1) 高速自動車国道の整備計画区間 9,342km については、有料道路方式と新直轄方式の有効活用により早期完成を図るとともに、高規格幹線道路 14,000km のネットワークを早期に実現すること。
- (2) 高速道路の建設に当たっては、地方の意見を十分に反映し、従来の建設スピードを超える一体的で継続的な整備を図ること。
- (3) 高速道路と一体となって高速交通体系を成す地域高規格道路の整備を推進すること。

2. 道路整備財源の確保について

道路特定財源の一般財源化に当たっては、高速自動車国道をはじめとした高規格幹線道路の整備を推進するための所要の財源を確保すること。

3. 高速道路の利便性向上について

- (1) 高速道路の利便性向上のため、弾力的な料金設定を行うとともに、スマートインターチェンジの整備を積極的に推進すること。
- (2) 高速道路利用による地域の救急救命活動の支援を図る

ため、救急車退出路の整備を推進するとともに、高速自動車国道における救急業務に対する支弁金について、制度の改善を図ること。

4. 交通渋滞・防災・安全対策等の推進

- (1) ETCの更なる普及促進を図るなど最先端の情報通信技術を用いたITS（高度道路交通システム）を推進すること。
- (2) 集中豪雨、地震等に対する防災に優れた道路構造の開発や道路擁壁の整備など防災対策を推進すること。
- (3) 高速道路の事故防止対策として、暫定2車線区間の中央帯レーンマークの改良など交通安全対策に万全の措置を講じること。
- (4) 高速道路関連施設のバリアフリー化を推進すること。